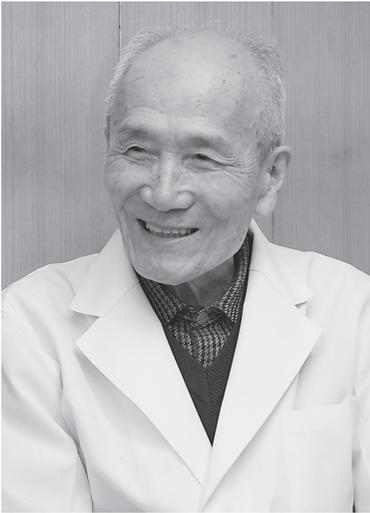


テニスは長生きの秘訣

門奈 丈石さん (平野区)

会員
フォーカス



還暦を過ぎてからテニスを始め、そのキャリアは25年。87歳を迎えた今もまだまだ現役続行中だ。

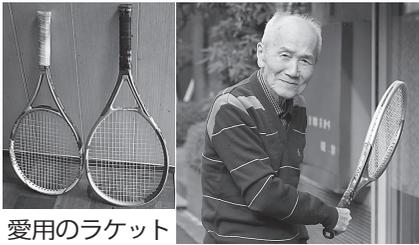
診療の合間に、週に2回テニススクールに通い、日曜には気の合う仲間たちと和気藹々と汗を流す。「もちろんチーム最年長」と照れ笑い。

テニスをやるようになってからは、健康を維持できて歯科医師としても現役でいることができる。目標を掲げている。

「仲間には100歳まで現役でいることを目指せ」と言われている。自分としては、90歳までは現役でいたい。

「仲間がいるから続けられる」と語る。元来、身体を動かすのが好きだったが、学生時代は、先の大戦に次ぐ戦後の混乱期でスポーツどころではなかった。歯科医になってから、「青春を取り戻す」ように登山やスキーを始めたが、団体スポーツはテニスで初めてだった。

登山は60代、スキーは70代で引退した。当然、肉体の衰えも感じていた。80歳を目前にして、癌になり、手術もした。それでもボールを追い続けるのは、やはり共に汗を流す仲間の存在が大きいです。



愛用のラケット

ホームページに改定情報 会員限定の特設コーナー

協会は診療報酬改定の最新情報を会員に伝えるため、ホームページに会員限定のコーナーを設置した。トップページの「2016年診療報酬改定情報」からアクセスできる。中央社会保険医療協議会の資料を中心に、診療報酬改定関連のデータを随時、更新している。協会のホームページアドレスは次の通り。会員ページのIDとパスワードは「引去明細書」に記載している。
<http://osk-net.org/>

三島地区は、在宅療養支援歯科診療所の施設基準に係る研修会を2015年12月6日、茨木市内で開いた。講師を務めた足立平氏(神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科教授)は、施設基準で定められている①高齢者の心身の特性②口腔機能の管理③緊急時の対応などについて解説した。高齢者の特性では、栄養不良や嚥下困難などの老化による身体症状について説明。口腔機能を維持・管理するために、摂食・嚥下障害への取り組みや栄養管理の必要性を強調した。

緊急時の対応では、AEDを用いた救急蘇生法を紹介すると共に、スケールリング時の血圧変化や局所麻酔直後のうがいの危険性などを指摘。「歯科医療は患者が耐えられることを条件にして成り立っている」と述べ、問診だけでなくモニターで患者の状態を把握するよう求めた。終了後、受講した23人に修了証を発行した。

歯援診の研修会開く

三島地区

北大阪地区は1月16日、「全身疾患と歯科治療」をテーマに講演会を開催。済生会千里病院口腔外科副部長の山本直典氏が講演し、25人が参加した。同氏は、通院および在宅治療の高齢者によく見られる「高血圧」、「脳血管障害」、「心筋梗塞」、「不整脈」、「弁膜症」、「抗凝固抗血小板療法」、「糖尿病」、「CKD(腎疾患)」、「POPD(呼吸器疾患)」の9つの疾患について、病院口腔外科医の視点から注意を要する点を具体的な症例を紹介しながら説明した。症例によって、歯科医が投薬で悩むときは、患者の主治医に相談し、主治医の指示により安全な投薬、治療を行うことがこれからの病診連携に役立つと思えた。(箕面市・久保隆夫)

身近な有病者の 医科歯科連携について

北大阪地区は1月16日、「全身疾患と歯科治療」をテーマに講演会を開催。済生会千里病院口腔外科副部長の山本直典氏が講演し、25人が参加した。同氏は、通院および在宅治療の高齢者によく見られる「高血圧」、「脳血管障害」、「心筋梗塞」、「不整脈」、「弁膜症」、「抗凝固抗血小板療法」、「糖尿病」、「CKD(腎疾患)」、「POPD(呼吸器疾患)」の9つの疾患について、病院口腔外科医の視点から注意を要する点を具体的な症例を紹介しながら説明した。症例によって、歯科医が投薬で悩むときは、患者の主治医に相談し、主治医の指示により安全な投薬、治療を行うことがこれからの病診連携に役立つと思えた。(箕面市・久保隆夫)

協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

新規開業医講習会(雇用編)
成功の鍵を握る一知っておきたいスタッフの募集・面接から管理のポイント
日時 2月21日(日) 午前10時~午後0時30分
会場 保険医会館 定員 50人
講師 桂好志郎氏(協会顧問社労士)
会費 会員無料
持参物 『医院経営と雇用管理』(2013年版)
未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承下さい。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

個人番号(マイナンバー)対策は大丈夫ですか? その狙いと取り扱いの注意点
日時 2月20日(土) 午後6時~8時
場所 OMMビル2階(京阪電車、地下鉄谷町線「天満橋」駅直結)
講師 清家裕氏(税理士)
会費 会員無料 未入会者1万円
定員 50名

大阪市内北部・東部地区
偶発症・難症例への対応―歯内療法における神経損傷の臨牀的対応
日時 2月20日(土) 午後6時~8時30分
場所 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 長谷川誠美氏(東淀川区開業)
会費 会員無料、未入会者1万円
定員 100人

確定申告対策直前セミナー
日時 2月18日(木) 午後2時~4時
会場 保険医会館5階 定員 50人
講師 伊藤幸子氏(協会医業税理士団)
会費 会員・家族無料 未入会者1万円

2016年診療報酬改定の最新情報とその狙い
日時 2月14日(日) 午前10時~正午
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 岡崎祐司氏(佛教大学社会福祉学部教授)
会費 会員無料 定員 100人

地域包括ケア構想と政府の2025年に向けた医療供給体制づくりの全体像~かかりつけ医・歯科医をキーワードに~
日時 2月13日(土) 午後5時30分~7時30分
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 岡崎祐司氏(佛教大学社会福祉学部教授)
会費 会員無料 定員 100人

高卒まで医療費助成を
富田林市で住民署名
南河内地区は、医科協会河内ブロックと共同で、昨年12月から「子育ていちばんの富田林市に」をスローガンに、同市の子ども医療費助成制度の対象年齢を18歳まで引き上げを求め、要望署名に取り組んでいる。
同市の助成制度は現在、入・通院ともに中学卒業までの子どもを対象となっている。多田利喜市長は「子育て日本一」



宣伝用ポスターチラシ

後署名を提出する予定。地区責任者の中村新太郎理事は、市議会の自民・公明・共産・未来の各会派に賛同を要請。地元ミニコミ紙の取材に応じつつ、自治会をはじめ各種団体を訪問して署名協力を訴えている。中村理事は「親の経済力が受診の妨げになってはならない。子どもの命と健康を守るためにも助成拡充は不可欠。南河内地域の中核的な自治体である同市が年齢を引き上げれば、周辺市も拡充に踏み出す可能性が高い」と話し、会員の協力を呼びかけている。

講演する山本氏1月16日、千里LCCビル

北大阪地区は1月16日、「全身疾患と歯科治療」をテーマに講演会を開催。済生会千里病院口腔外科副部長の山本直典氏が講演し、25人が参加した。同氏は、通院および在宅治療の高齢者によく見られる「高血圧」、「脳血管障害」、「心筋梗塞」、「不整脈」、「弁膜症」、「抗凝固抗血小板療法」、「糖尿病」、「CKD(腎疾患)」、「POPD(呼吸器疾患)」の9つの疾患について、病院口腔外科医の視点から注意を要する点を具体的な症例を紹介しながら説明した。症例によって、歯科医が投薬で悩むときは、患者の主治医に相談し、主治医の指示により安全な投薬、治療を行うことがこれからの病診連携に役立つと思えた。(箕面市・久保隆夫)